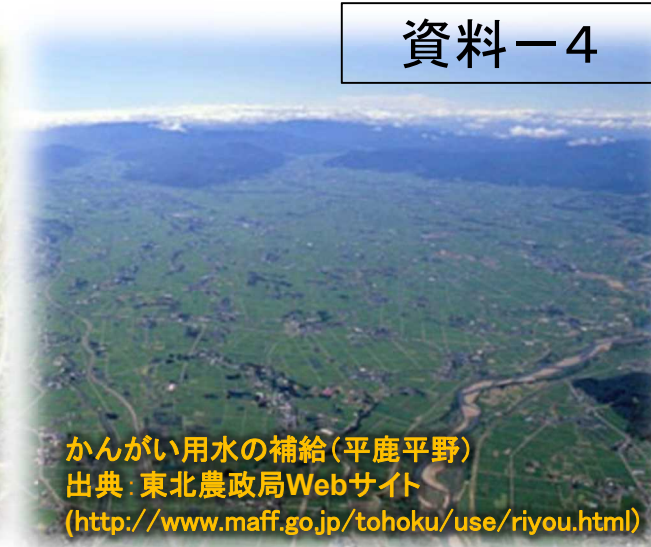
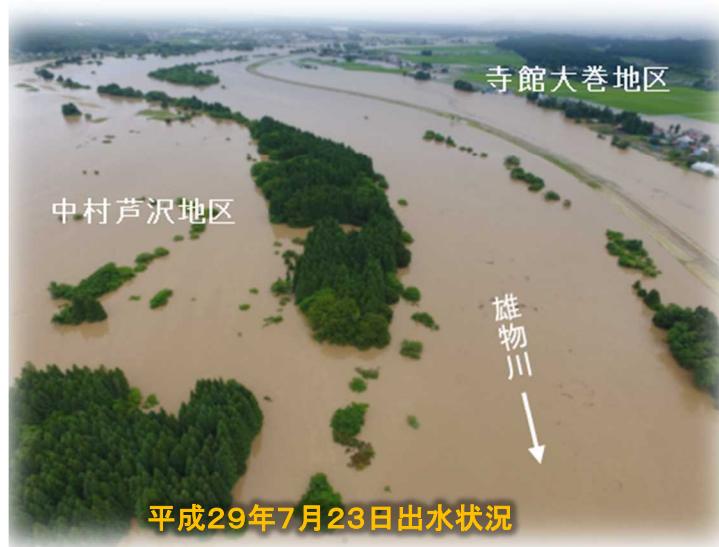


人に、まちに うるおいを・・・。

Naruse Dam

資料-4



令和4年度 成瀬ダム事業概要

第17回 雄物川水系河川整備学識者懇談会



国土交通省 東北地方整備局 成瀬ダム工事事務所

Ver.2022.11.30

- 1 事業概要と進捗状況
- 2 環境保全の取り組み
- 3 広報について
- 4 水源地域の振興等

昭和58年	4月	実施計画調査開始(秋田県)
平成 3年	4月	国直轄事業に移行(現:湯沢河川国道事務所所管)
平成 9年	4月	建設事業着手
平成13年	5月	基本計画官報告示(H13.5.29:国土交通省第887号)事業費:1,530億円 工期:平成29年
平成13年	10月	下流工事用道路工事着手 ※岩井川地区L=3.28km
平成15年	3月	用地補償基準妥結
平成17年	3月	国道342号付替工事着手
平成20年	1月	「雄物川水系河川整備基本方針」策定(H20.1.28)
平成21年	3月	仮排水トンネル 着手
平成21年	12月	下流工事用道路完成(供用開始)
平成21年	12月	検証の対象となるダム事業に選定
平成24年	4月	国道342号一次供用区間開通
平成24年	8月	仮排水トンネル 完成
平成25年	1月	ダム検証に係る対応方針決定(継続)(H25.1.25)
平成26年	3月	基本計画(第1回変更)告示(H26.3.12:国土交通省第304号)事業費:1,530億円 工期:平成36年
平成26年	4月	成瀬ダム工事事務所 開所
平成26年	11月	「雄物川水系河川整備計画」策定(H26.11.28)
平成29年	3月	新事務所庁舎開所(H29.3.23)
平成29年	4月	「雄物川水系河川整備計画」変更(H29.4.13) ※ダム型式変更
平成29年	9月	基本計画(第2回変更)告示(H29.9.12:国土交通省第822号) ※ダム型式変更(ロックフィルダム→台形CSGダム)
平成30年	3月	仮排水トンネルへ転流開始(H30.3.26転流式)
平成30年	9月	ダム本体工事着工(H30.9.15着工式)
令和元年	10月	ダム堤体打設開始(R1.10.15初打設式)
令和3年	9月	基本計画(第3回変更)告示(R3.9.10:国土交通省第1255号)事業費:2,230億円 工期:令和8年
令和4年	5月	定礎式(R4.5.14)

下流工事用道路整備状況



ダムの目的

①洪水調節

成瀬ダムの建設される地点における計画高水流量 $460\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $410\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行います。

②流水の正常な機能の維持

成瀬ダム下流において 既得用水の補給や河川環境の機能維持と増進を図ります。

③かんがい

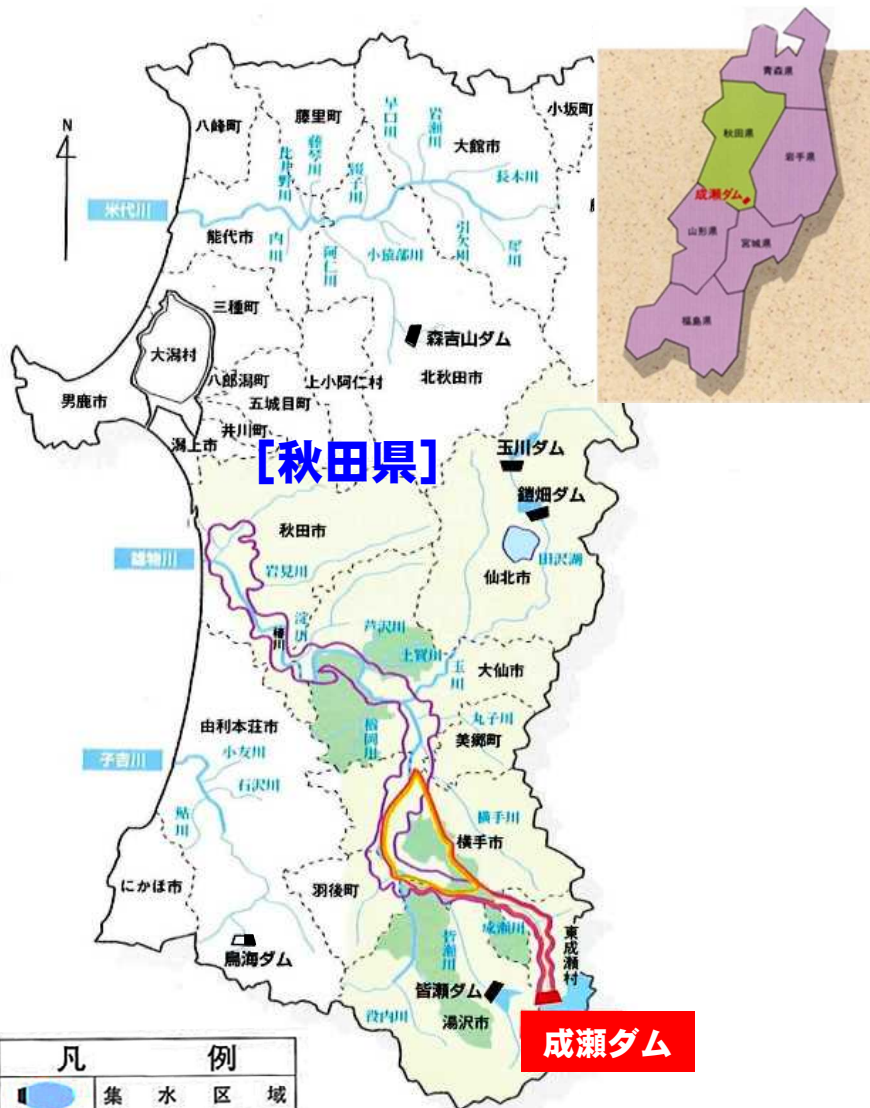
皆瀬川、成瀬川及び雄物川沿岸の平鹿平野地区約 $10,050\text{ha}$ の農地に対するかんがい用水の補給を行います。

④水道(湯沢市、横手市、大仙市)

湯沢市、横手市、大仙市に対して、新たに1日最大 $13,164\text{m}^3$ の水道用水の取水を可能にします。

⑤発電(秋田県)

成瀬ダムの建設に伴って新設される成瀬発電所において、最大出力 $5,800\text{kw}$ の水力発電を行います。



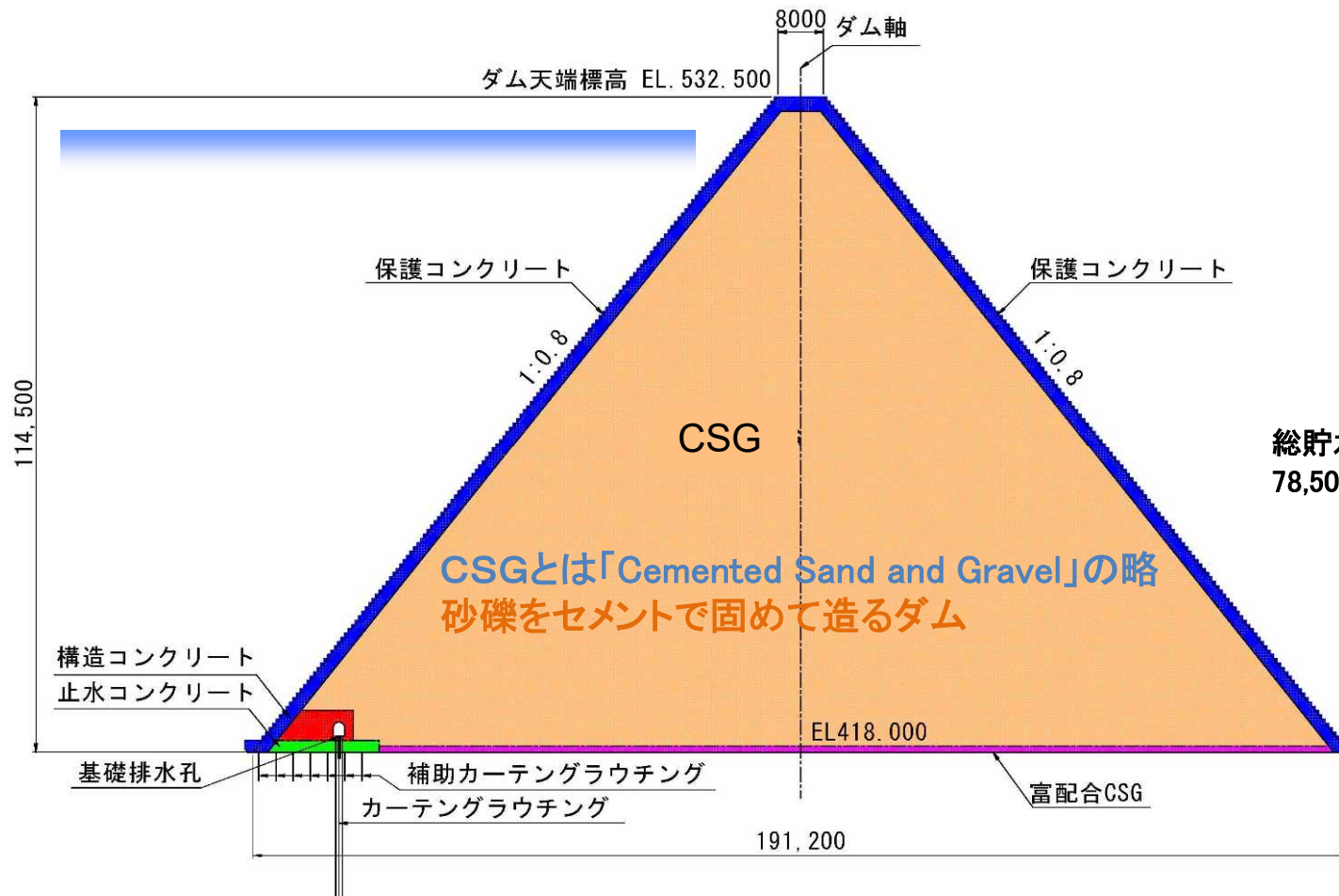
ダムの位置

秋田県雄勝郡東成瀬村
(雄物川水系成瀬川)

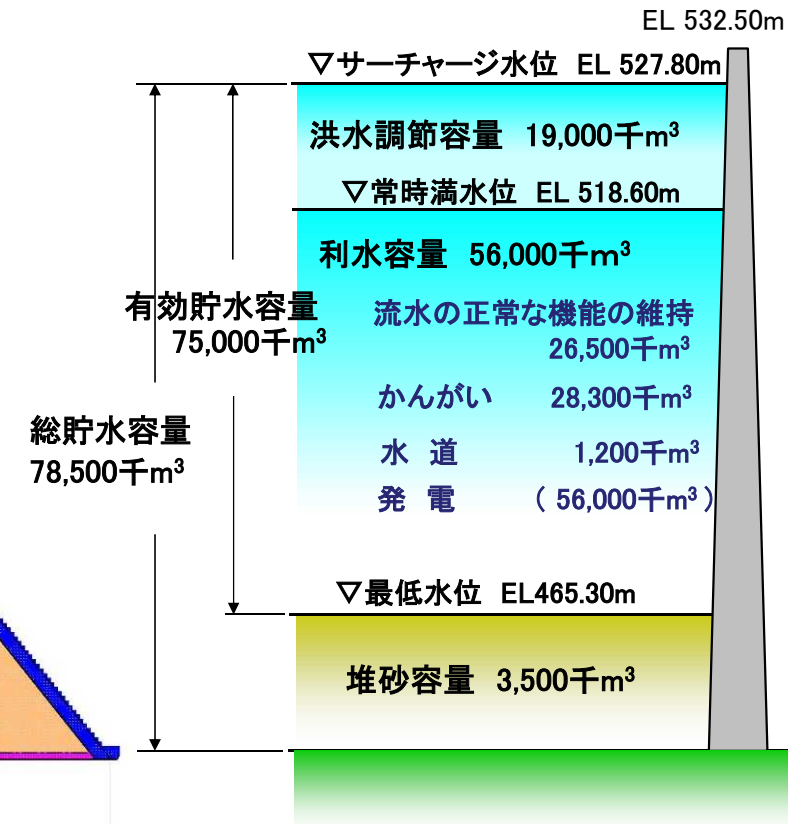
雄物川流域図

凡	例
	集水区域
	洪水氾濫防止区域
	不特定用水補給区域
	かんがい用水補給区域
	上水道供給区域
	雄物川流域
	ダムサイト

標準断面図



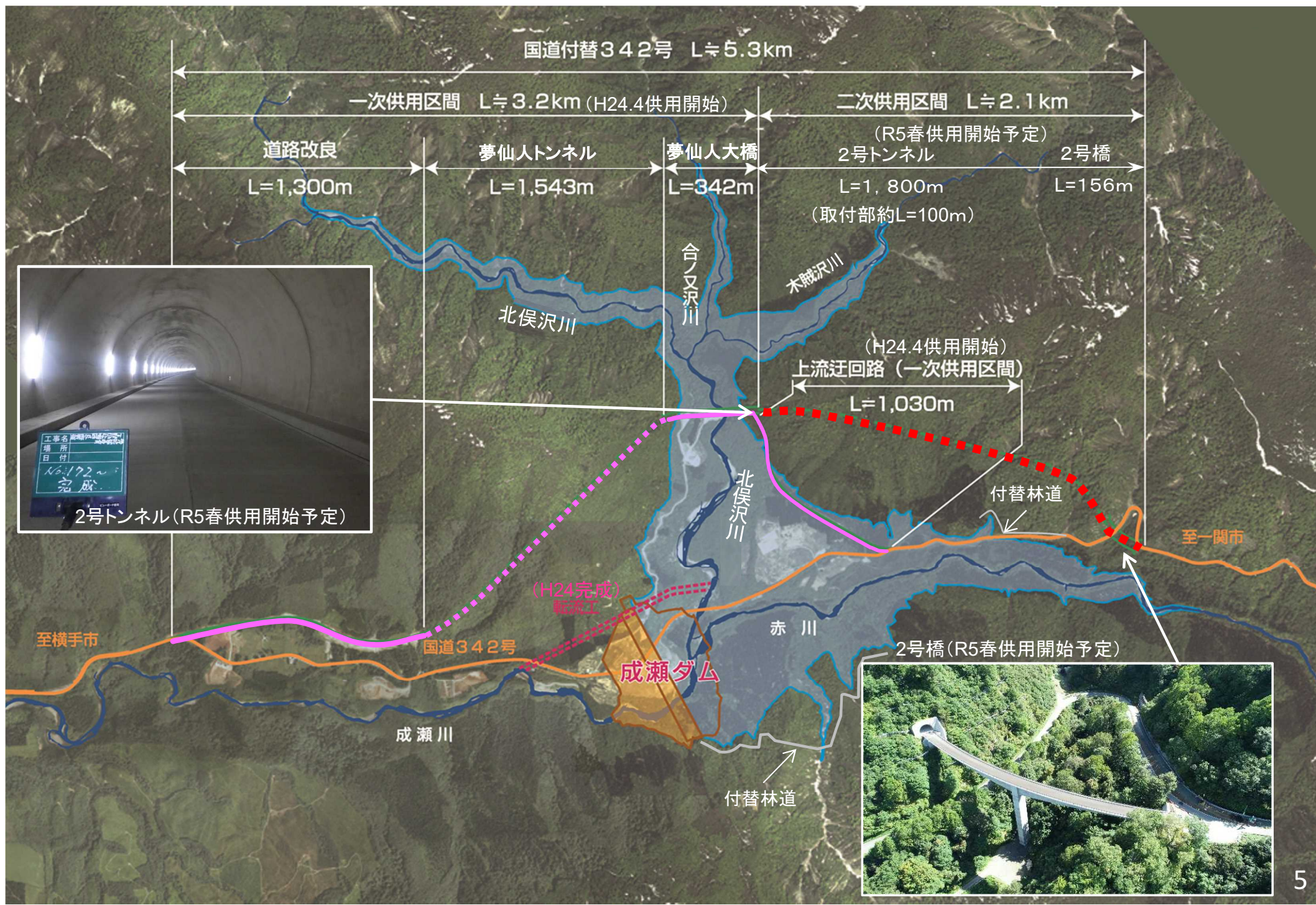
貯水池容量配分図



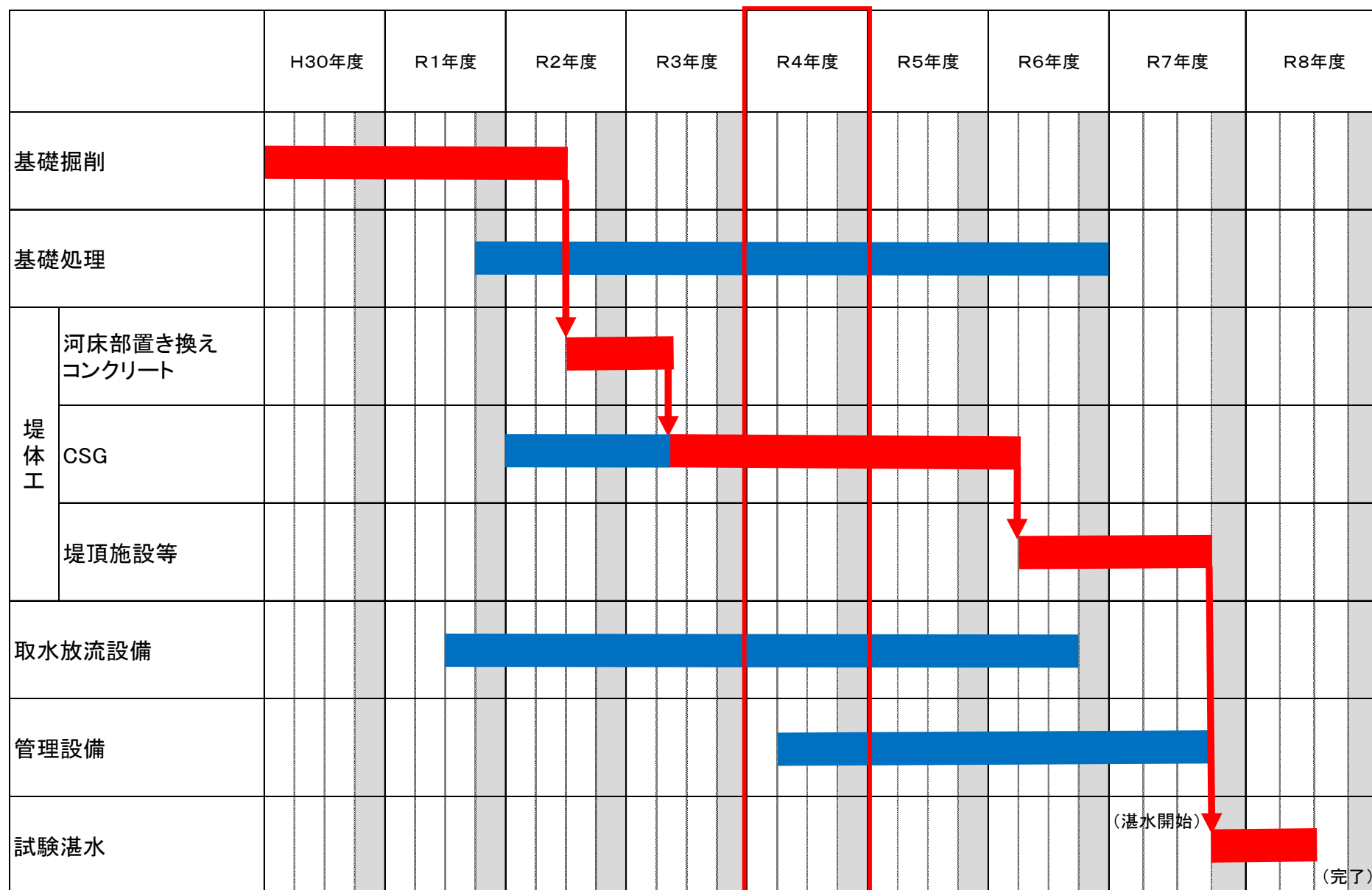
ダムの諸元

- ・型式 台形CSGダム※
- ・ダム高 114.5m(台形CSGダムで日本一)
- ・堤頂長 755.0m
- ・堤体積 4,850千m³
- ・事業費 約2,230億円
- ・工期 昭和58年度～令和8年度

- ※台形CSGダムは日本で開発された最新のダム型式で、以下のような特徴があります。
- ・建設現場周辺で手近に得られる岩石や砂れきにセメント、水を混合してつくるCSG(Cemented Sand and Gravel)を使う。
 - ・堤体の上流面と下流面が同じ勾配をもつ台形型。



令和8年度(2026年度)完成予定



○秋田県雄勝郡東成瀬村に建設中の成瀬ダムは、工事本格化にあたり、成瀬ダム建設に協力いただいた関係各位に謝意を表すとともにダムの永久堅固と安泰を祈願する「定礎式」を実施しました。

- 開催日時 令和4年5月14日(土) 10:30～12:20
- 実施場所 秋田県雄勝郡(おがちぐん)東成瀬村(ひがしなるせむら)椿川(つばきかわ) 成瀬ダム ダムサイト
- 出席者 秋田県知事、横手市長、東成瀬村長、湯沢市長、関係市村、用地提供者等、
衆議院議員、参議院議員、水管理・国土保全局長(国土交通副大臣代理) 約200名



記念撮影



礎石搬入の様子



礎石



鎮定の儀



無人ブルドーザによる敷均し



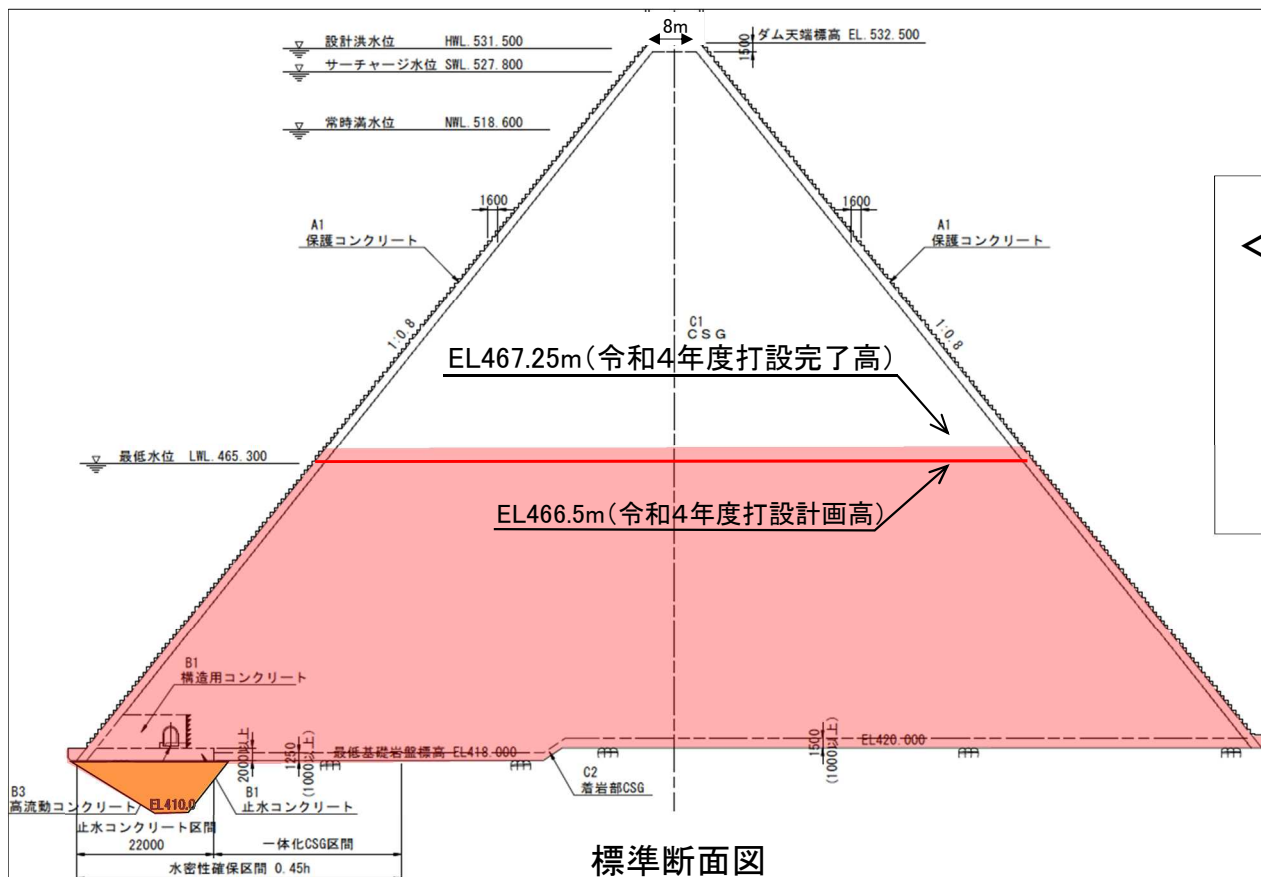
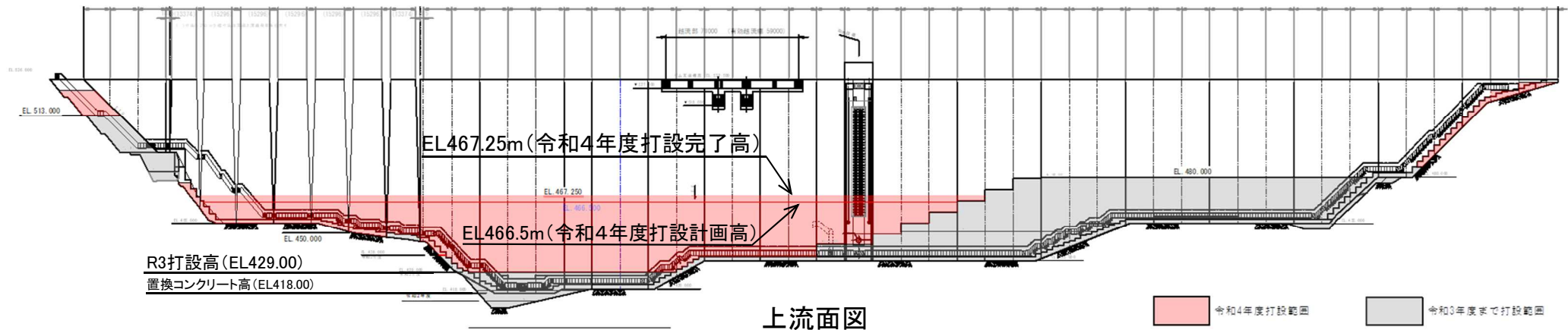
東成瀬小学校6年
佐々木 希さん



東成瀬中学校3年
佐々木 真緒さん

地元小中学生によるあいさつ

堤体打設進捗状況(令和4年11月19日完了)



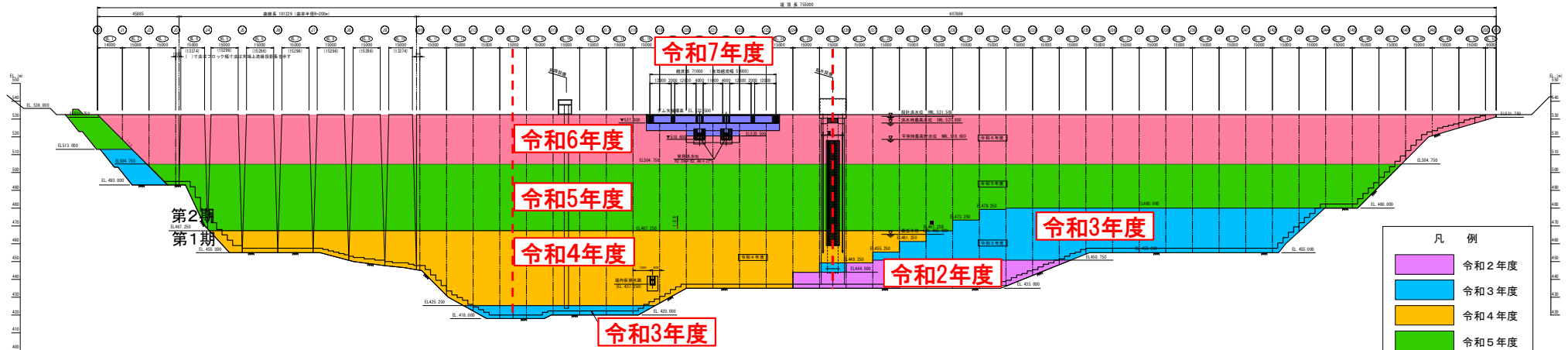
＜累計堤体打設実績＞

全体計画	485万m ³
R4年末打設計画	245万m ³ (51%)
R4年11月19日完了	250万m³ (52%)

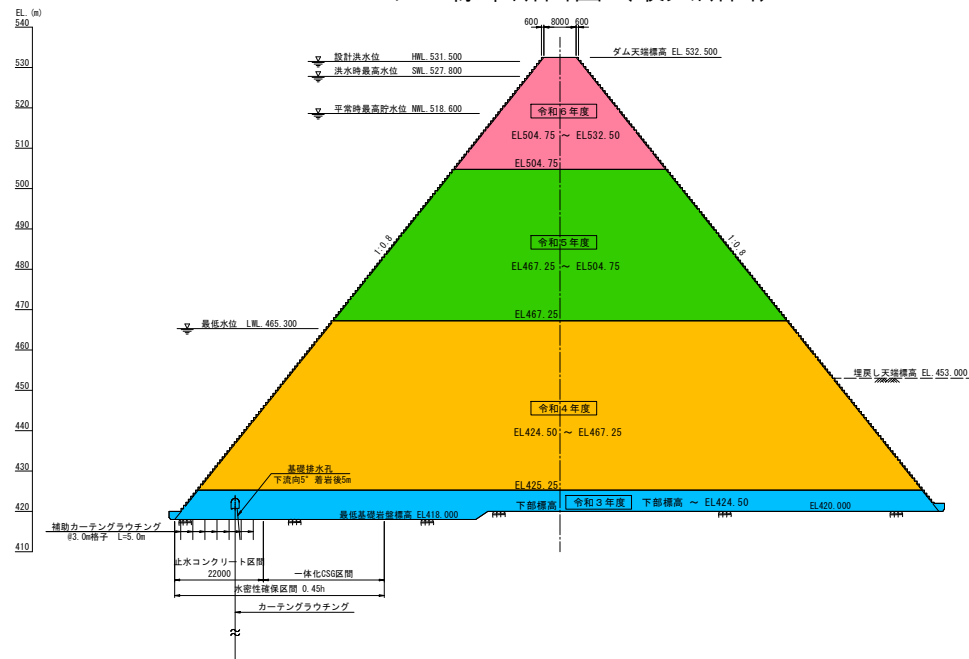
※止水コンクリート等を含む。

堤体打設計画

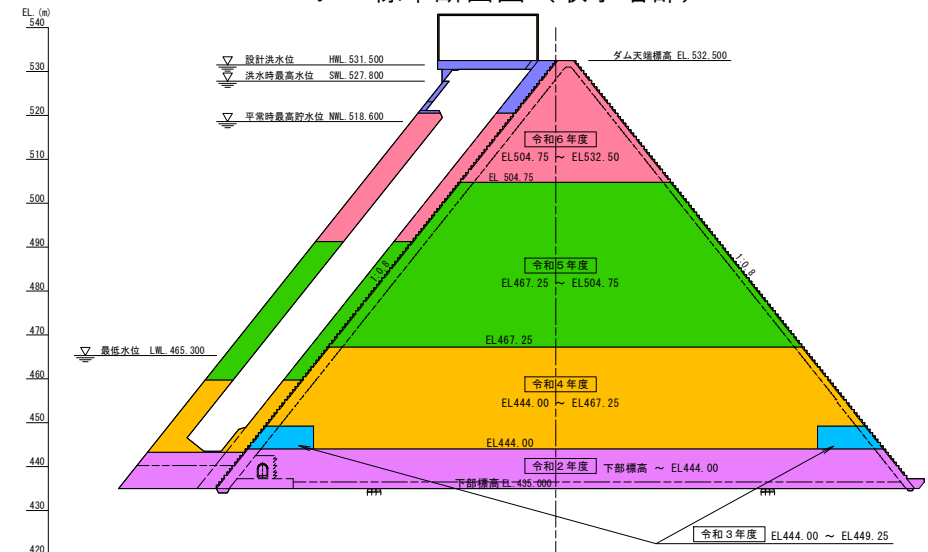
ダム正面図（上流面図）



ダム標準断面図（最大断面）



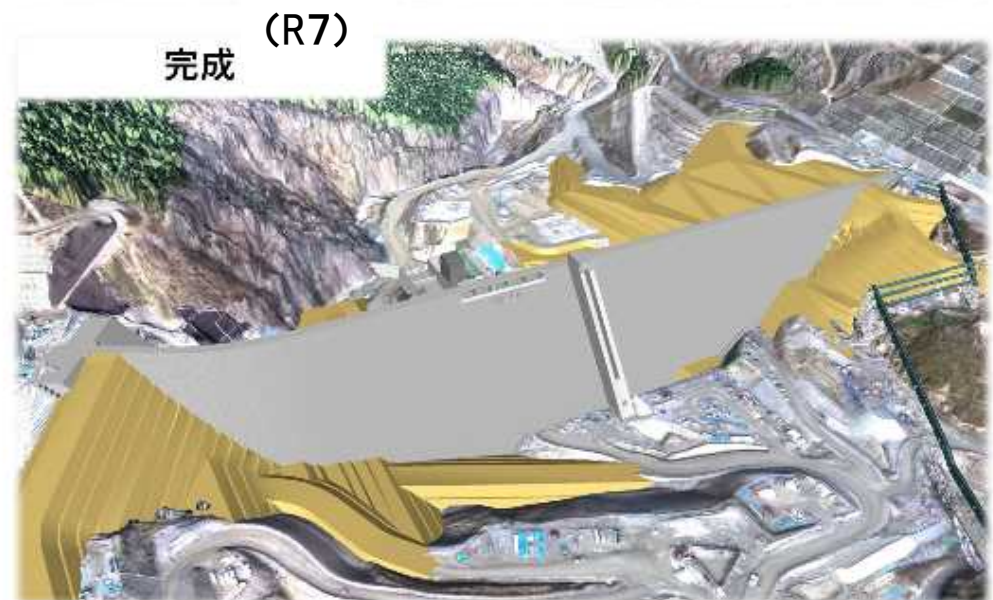
ダム標準断面図（取水塔部）



※計画は現時点の予定であり、今後変わる場合がある。

※ダム上流面図とダム標準断面の縮尺は異なる

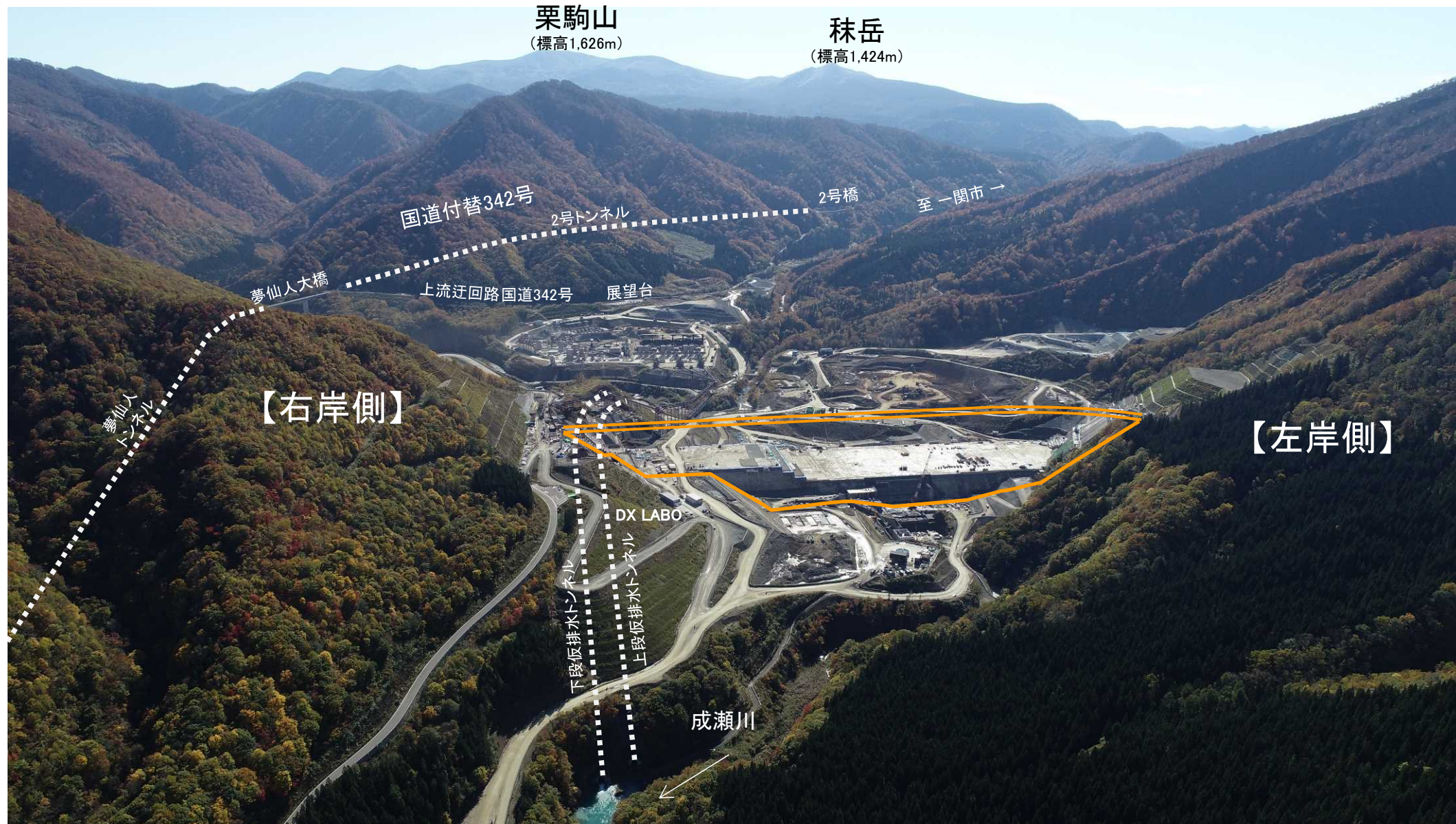
R4年度以降の堤体施工ステップ図(イメージ)



完成予想パース



ダム・貯水予定地全景...下流側から望む



※DX LABO:「KAJIMA DX LABO」は、鹿島建設が現場内に設置している成瀬ダムの工事と自動化施工などの体感学習施設及び自動化施工の管制室。

令和4年10月27日撮影

◆施工状況...ダムサイトを下流側から望む



令和4年10月27日撮影

◆施工状況...ダムサイトを上流側から望む



令和4年10月27日撮影

◆施工状況…堤体材料(CSG、コンクリート)製造工場※赤滝プラントヤード



令和4年11月17日撮影

◆施工状況...国道付替2号橋を望む



令和4年10月26日撮影

- ・成瀬ダムでは、周辺の良い自然環境と共存するダムづくりを推進するため、成瀬ダム周辺の環境影響について環境影響評価を行い、工事に当たっては、環境保全対策等の検討内容に沿って周辺の自然環境に配慮し事業を進めています。
- ・具体的な調査や保全対策の実施に際しては、個別分野毎に専門の有識者からの指導・助言を得ながら環境保全の検討・対策を行っています。

⇒令和4年10月27日に「成瀬ダムイヌワシ・クマタカ調査委員会」、「成瀬ダムモニタリング委員会」合同で現地調査を開催し、工事状況を確認していただきました。

⇒令和4年11月15日に「成瀬ダムイヌワシ・クマタカ調査委員会」を開催し、イヌワシ1組のペアの確認とクマタカ2組のペアの繁殖成功を報告しました。

⇒令和5年2月頃に「成瀬ダムモニタリング委員会」を開催する予定です。

ナベクラザゼンソウ



サクラマス(ヤマメ)



クマタカ



クマタカ



ヒメシジミ



モニタリング委員会



※H29～R3まで6回開催

イヌワシ



イヌワシ・クマタカ調査委員会



※H10～R4まで32回開催

- 成瀬ダムでは、濁水処理プラントや沈砂池を設け、工事で生じた濁りを低減させてから河川に放流しています。
- 堤体打設が最盛期を迎える令和4年度は、処理プラント施設の追加増強、処理方式の変更等により工事濁水の発生防止対策を強化しています。



※沈砂池①はトクラ(水質)より下流で河川に排水

- ・ダム本体工事が最盛期を迎えていることから、新たな取り組みも加えて一般向け広報を実施しています。
- ・今年度は、新たな展望台の開放や工事状況のLIVE配信モニターの設置を行い、より広く一般の方々への広報を展開しています。
- ・また、事前予約制のバスツアーや夜間の特別見学会を開催し、普段は立ち入ることができない現場内で一般の方々にも工事状況を間近で見いただきました。



道の駅「十文字」へのモニター設置
(令和4年度～)



○ 右岸展望台
⇒一般向け開放
(令和4年度～)



○ 原石山展望台
⇒見学会等の参加者のみの特別な展望台も設置(令和4年度～)



○ 上流展望台



一般向け広報資料の例

ちょっと特別！な見学ツアー

なるせダムアドベンチャーバスツアー【ABT】

5月～10月(5/28. 6/11. 6/25. 7/9. 7/23. 8/6. 8/20. 9/3. 9/17. 10/1. 10/15. 10/22)

令和4年度新企画！個人の方を対象としたちょっと特別な現場見学会です。

事務所が準備するマイクロバスに乗車いただき、普段は立ち入ることができないダム工事現場に潜入し、バスの中からリアルなダム建設現場を間近から体感していただきます。案内として当事務所職員が同乗しガイドします。現場が休工の場合は、超大型重機とのふれあえる体験もあります。令和4年度の累計参加者数は全12回で計666人と大変好評でした。



大興奮！パシャリ！



あっ55トンダンプ！パシャリ！



僕たちダムカード



原石山にて職員によるダムや原石の説明



あれは？何？



原石になった気分で・・・



おおきすぎる～！

3年ぶりの開催！

夜の特別見学会

7月30日、8月20日の2回開催

参加者数97人

新型コロナ感染拡大を受け昨年度は実施しておりませんでしたが、今年度は3年ぶりに開催しました。
参加者は重機とふれ合ったり、闇に浮かぶ幻想的な堤体やきらきら光る材料製造工場の夜景を展望台から堪能しました。
また、今年の新企画である、参加者が思いをこめたメッセージを堤体材料になる石に書く「メモリストーン」も、大変好評です。



おっきいなあ～



重機がいっぱい！



★夕闇にきらめく材料製造工場★



メモリストーンに願いを込めて！



気分はオペレーター！！！！

2年ぶりの開催！

秋の特別見学会

10月29日開催

参加者数75人

2年ぶりに「東成瀬村 産業祭」と合同開催しました。

参加者は重機とふれ合ったり、ドローンによる現場見学(モニターに映して)、ドローンによる集合写真撮影、原石山展望台から工事現場を一望し、ダム材料となる原石を叩いて、保護コンクリートになる石、CSGの材料となる石を見分け体験などをしました。



見学会受付中



思いを書いたCSG材料



産業祭会場



55トンダンプ順番待ち



堤体打設状況見学

ドローンによる記念撮影(写真提供 鹿島・前田・竹中土木JV)



原石山展望台にて

初の試み 東成瀬村とコラボ！

報道機関向け現場見学会

10月11日開催

今年は新たな取り組みとして、村とタイアップし、特産品、ダムカレーの試食など村のダム関連地域おこしのPRも兼ねて実施。各社とも、村の地域おこし特産品や現場のDXを熱心かつ興味深く見学いただきました。特に成瀬ダムスリランカカレーは大好評でした。



原石山展望台での概要説明



原石山中央操作室



東成瀬村の特産品販売



素朴な味わい
あずきでっち



台形CSG
あずきでっち試作品



CSG打設中

参加報道機関(敬称略)

秋田朝日放送
秋田テレビ
秋田魁新報社
読売新聞
朝日新聞
河北新報社
建設新聞社
FMゆーとぴあ



スリランカカレー開発秘話...



自動化管制室



1日も早い完成を目指します

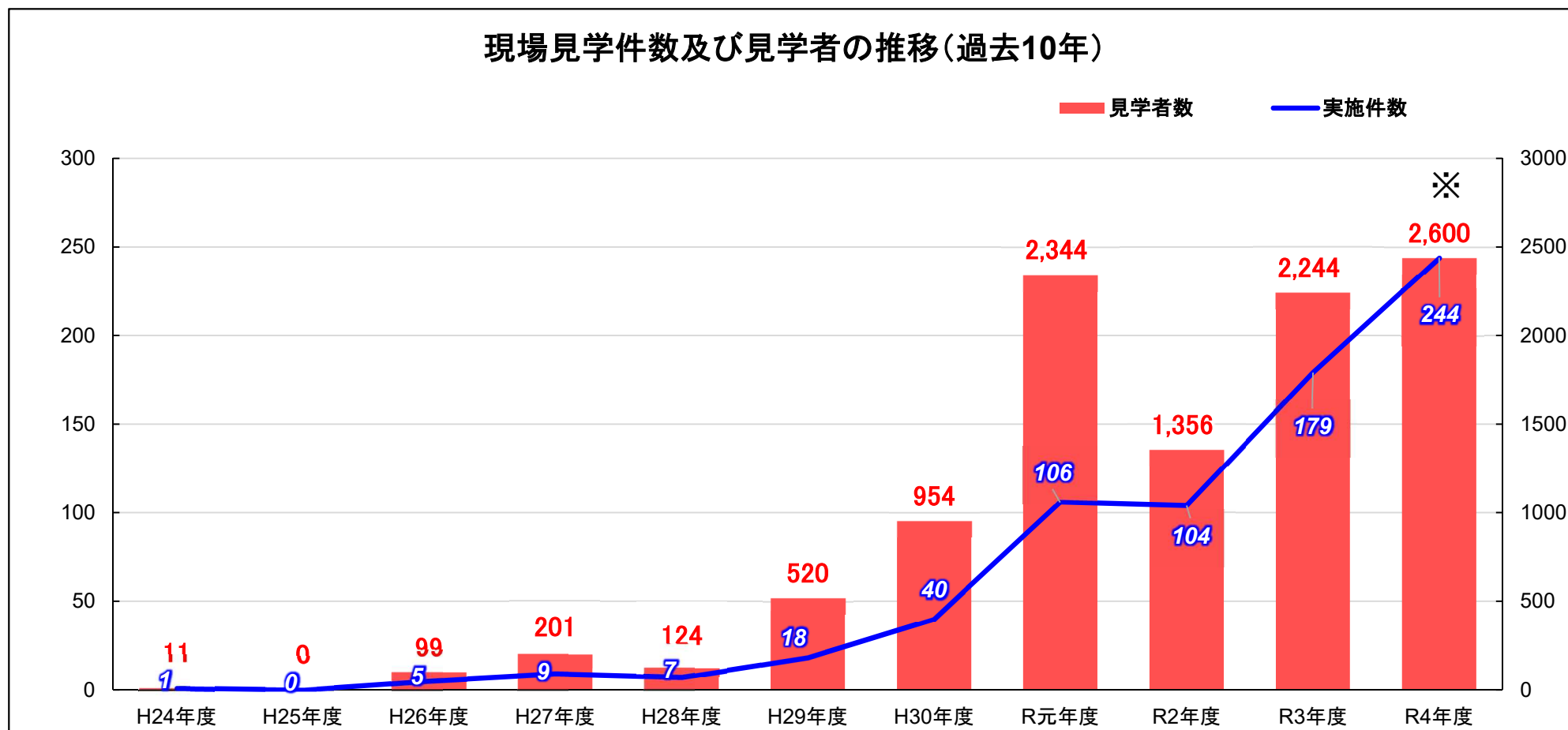


ホテルプランのダムカレー



スリランカカレー試食

令和4年度の成瀬ダム見学者数は、10月末時点で既にコロナ過前の過去最高を更新しており、増加しています。



令和4年度 約2,600人のうち

アドベンチャーバスツアー 666人(全12回累計)

夜の特別見学会 98人

秋の特別見学会 62人

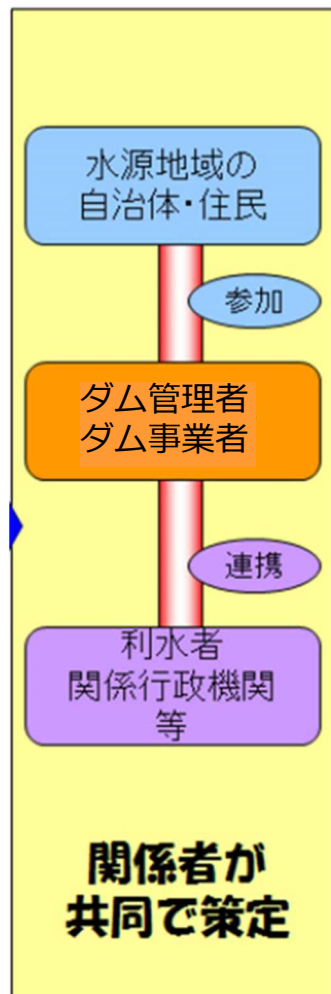
※令和4年10月末時点

上流展望台来場者 約14,000人(5月上旬～10月末まで)

■「水源地域ビジョン」は、水源地域活性化のための行動計画です。

- ・水源地域ビジョンは、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、流域内の連携と交流による流域圏の発展を図ることを目的に、ダム水源地域の自治体・住民等が主体となり、流域の自治体、住民、関係行政機関などの参加も得て、ダム事業者と共同で策定します。現在、全国で120を超えるダムで水源地域ビジョンが策定され、地域活性化施策が展開されています。
- ・成瀬ダムにおいても、水源地域ビジョンの策定に向けて、地元東成瀬村、下流受益自治体、各種民間団体等と連携し、水源地域の特色とダムを活かした地域活性化に資する今後の施策展開に向けたワーキングの開催等、準備を進めているところです。

水源地域ビジョン



水源地域ビジョンの推進

連携・支援による
利活用施設の整備



関係自治体と連携した
上下流の交流活動



地域の歴史・伝統・文化やダム
を活用した体験学習



ダムとダム湖の利活用



観光交流や特産品など地域の特色
を活かし地域活性化



- ・ 今後の水源地域ビジョンの策定、行動計画の立案に向けて、水源地自治体である東成瀬村をはじめとする関係者との連携および参画により、インフラツーリズムなどダムを活用した地域振興に関する様々な取り組みを実施中です。

■ 検討体制 (2017～)

- ・ ダム水源地 (東成瀬村)、下流自治体 (湯沢市、横手市、大仙市)、ダム事業者 (国交省)、地元関係者、民間事業者などによる各種WGを立ち上げて、地域活性化に向けたダム活用方法・施策内容のアイデア出しとメニュー等の検討、具体化に向けた進め方などを議論。
- ・ 2017～19: アイデア出しや施策メニューの検討
- ・ 2020～: 施策メニュー実現に向けた試行・拡充



名 称	構成メンバー
行政WG	行政機関(東成瀬村・下流自治体・成瀬ダム)
地域意見交換会	地元関係者、民間事業者、東成瀬村、成瀬ダム
ダムツーリズムWG	観光協会、旅行会社、宿泊・飲食業、村、ダム
ダムカレーWG	商工会、飲食業、東成瀬村、成瀬ダム



旅行会社でも日帰り旅行企画の行き先にダムを対象にしている(R4.6月 の例)

■ 先行事例ダム視察 (2018～)

- ・ ダムを利活用した地域振興の方策について、先例地の実績を参考とし、関係者と意見交換。
- ・ 成功事例の内容や経過、課題などを確認 (津軽ダム、森吉山ダム、湯田ダム、長井ダム、胆沢ダムなど)

■ 先行施策の試行 (2020～)

- ・ 試行により実現に向けた課題抽出、実施内容の磨き上げ
 - ツーリズム (=インフラツーリズム)
 - ダムカレー
 - 上下流交流

施策の素材

■ 東成瀬村 + 下流自治体・周辺地域

(観光やレクリエーション、食、文化、歴史、自然、教育など)

■ ダム利活用

Ex) ダム見学 (工事中、完成後)
ダム湖周辺利活用 (完成後)

■ 令和4年度の実施内容

- ・ ツーリズム: 旅行会社が成瀬ダムと周辺の地元観光スポットを組み合わせた日帰り旅行商品を企画販売(6月23・24・30日) また、県内旅行業関係者を対象としたモニターツアーを10月25日実施。引き続きダム周辺の交流人口増加に取り組む。
- ・ 上下流交流: 東成瀬村と下流自治体の学校生徒による村内体験型交流を10月22日実施。今後、関係自治体相互間の取組に拡大予定。
- ・ ダム湖周辺利活用: ダム完成後の周辺利活用について、今後策定予定の水源地期ビジョンの基本理念や施策メニュー案、運営手法等行動計画について東成瀬村と協働で検討を実施中。

- ・日本最大のダム建設現場を活用したインフラツーリズムを核に、新たな地域資源の掘り起こしと交流人口の増加を目指し、地元観光関係団体のモニターツアーを開催しました。
- ・ダム完成後の水源地域の持続的発展に向け、引き続き地元と連携してニーズの掘り起こしに取り組みます。

■東成瀬村観光コンテンツ実務者対象モニターツアー（令和4年10月25日開催）

- ・旅行・観光関係者の方々を対象に、秋田県東成瀬村に建設中の成瀬ダムを新たな観光資源と捉え、東成瀬村内の観光コンテンツの魅力と認知向上を図り今後の旅行会社等の民間主導による旅行商品の造成と、地域振興へ繋げていくため、平成30年度から実施中（令和元年～令和2年は新型コロナ感染防止のため中止）

モニターツアー参加社構成

分類	事業者名
旅行会社	(株) JTB秋田支店
	東武トップツアーズ(株) 秋田支店
航空会社	日本航空(株) 秋田支店
	ANA あきんど(株) 秋田支店
観光関係	秋田県観光連盟
	秋田県観光文化スポーツ部観光振興課
	由利本荘市観光振興課
	大仙市観光物産協会
	羽後町観光物産協会
	あきた美郷づくり株式会社
	NPO 法人 能代観光協会
	湯沢市産業振興部 観光ジオパーク推進課観光物産班
情報誌	(同) トマトクリエーション
添乗員	(株) 読売旅行 秋田営業所

成瀬ダム水源地ビジョン『ダムツーリズム』WG

所属	構成メンバー
成瀬ダム工事事務所	調査設計課
東成瀬村	建設課・企画課・教育委員会
(一社)東成瀬村観光物産協会	会長
村内外の民間企業	秋田栗駒リゾート(株)・(有)秋田コスモトラベル・(株)羽後交通観光・(株)読売旅行



社殿彫刻の観光コンテンツ化の確認



成瀬ダム工事現場や完成後の観光コンテンツ化の確認



東成瀬村産の食材を使ったダムカレーの試食



村内の観光コンテンツ評価や意見交換

- ・ 成瀬ダムからの水を使うこととなる下流地域の方々と水源地の方々が、環境保全活動やレクリエーションを通して親睦を深めるとともに、水源地の現状や課題、水の大切さやSDGs等への理解を深めることを目的に上下流交流会を実施。

■ 成瀬ダム上下流交流会（令和4年10月22日開催）

- ・ 水源地の東成瀬村と下流受益自治体である湯沢市の各教育委員会等と連携し、小学生と保護者を対象に募集。
- ・ 湯沢市から22名の参加を得て東成瀬村のまると自然館を会場に縄文体験や成瀬ダム見学、地元特産の郷土料理を味わうなど上下流の交流を深めました。
- ・ 今後も継続的に水源地と下流受益自治体との交流の輪を広げていく予定です。

成瀬ダム 上下流交流会

水の恩恵を受ける地域（湯沢市・東成瀬村）の方々と親睦を深めよう！

2022.10/22

9:30～15:30（集合時間 9:30）雨天決行

- 対象者：湯沢市・東成瀬村の小学生＋保護者（同伴可）
- 参加費：1,000円/人（昼食代、縄文体験費）
- 集合場所：東成瀬村役場（集合・解散）
- 実施内容：歴史体験とダム見学

※詳しい行程は裏面をご覧ください。

- 募集締切：10/14（金）

※定員12組、定員になり次第募集は締め切ります。

- 参加申込：ウェブフォーム

※詳しい参加申込方法は裏面をご覧ください。

※成瀬ダム上下流交流会の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の状況等に留意しつつ、感染防止策を講じることとします。

歴史
体験 × ダム
見学



縄文体験（勾玉づくり）



ダム見学



昼食（芋のこ汁）



みんなで記念撮影



主 催：東成瀬村・国土交通省 成瀬ダム工事事務所

募集チラシ